

相模三川公園の概要説明

2011.2.2 説明会配布資料

■ 基本方針

- ①水と緑とのふれあい・・・「水」とのつながりを重視した地域性と、都市における「水と緑」とのふれあいの場の創出
- ②人とのふれあい・・・県民、地域住民の水辺レクリエーションによる「水と人との交流拠点」となる施設づくり
- ③地域文化とのふれあい・・・三川合流地点の地域特性を反映した文化や自然環境による体験レクリエーションの場の創出



■ 各ゾーンの説明

● センターゾーン

広場中央に盛土した夕焼けの丘や、様々な活動に対応した多目的スペースを備えたパークセンターが配置され、人々が集まる本公園の中心的な広場である。



夕焼けの丘

● ふれあい広場・駐車場ゾーン

本公園の入口となるメイン駐車場と遊具などを配置し地域のコミュニティ形成に寄与する広場である。



ふれあい広場の噴水

● 鳩川遊歩道ゾーン

春には堤沿いに咲くサクラの花見広場として、また子どもたちの自然体験や学習の場として利用される。



鳩川と鳩川遊歩道

● スポーツ広場ゾーン

野球以外のサッカーやソフトボールなど多くの利用に対応した兼用スポーツグラウンドとなっている。一部には、多目的広場や芝生の自由広場を設けている。



スポーツ広場（グラウンド）

● 自然観察園ゾーン（未整備）

- ・相模川の河川特有の自然環境を利用した環境学習の場として位置づけ、河川環境の保全を図りつつ、自然観察などに利用する。
- ・保全と利用の区域を明確に分け、保全区域は手をつけず、利用区域でも既存踏み分け道を利用した散策路や鳩川に近づける護岸、散策デッキなど自然観察に供する施設を設置する。



自然観察園
整備イメージ鳥瞰図

相模三川公園の概要

開園日	平成16年 3月27日：一部開園 (3.1ha) センターゾーン、ふれあい広場・駐車場ゾーン
	平成19年 4月1日：拡大開園 (8.8ha) スポーツ広場ゾーン
開園面積/都市計画決定面積	11.9ha / 24.4ha (平成6年12月)
年間入園者数	約20万人弱/年

相模三川公園の主な施設（予定箇所を含む）

センターゾーン	夕焼けの丘、パークセンター、さくら橋、風の広場（予定）
スポーツ広場ゾーン	軟式野球場、少年軟式野球場兼ソフトボール場、多目的グラウンド（サッカーコート・ソフトボール場）、自由（芝生）広場、多目的広場、スポーツ広場駐車場
ふれあい広場・駐車場ゾーン	わくわくランド（大型遊具）、水遊び広場、ふれあい広場、駐車場
鳩川遊歩道ゾーン	遊歩道、桜堤
自然観察園ゾーン（未整備）	（散策路、玉砂利護岸、芝生広場、散策デッキ、観察デッキ）